

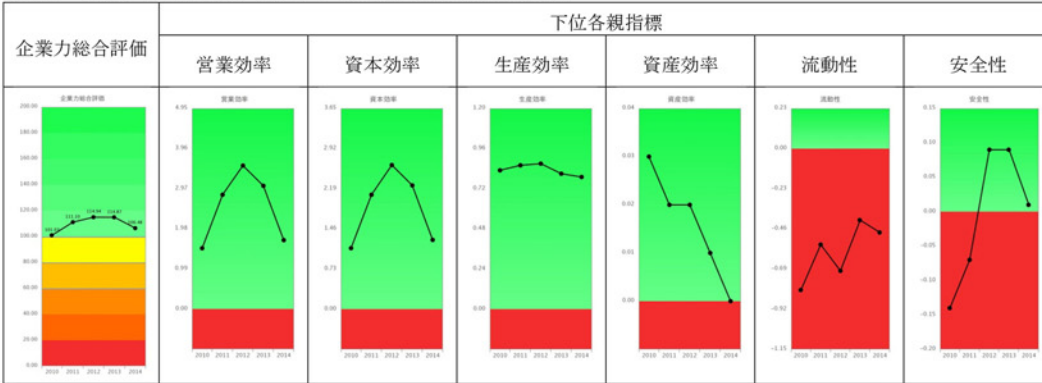


経営分析ニュース

第108号
2014年11月20日発行
毎月20日発行

今回は、コーナン商事株式会社を分析しました。ホームセンター（以下、HC）事業を営む会社で、売上高は業界第4位、大阪に本社があります。デフレの波にもまれ、同業他社と激しく戦っている業界です。

2010～2014年2月期までの5年間を分析してみました。



企業力総合評価は、101 → 111 → 114 → 114 → 106と推移しています。青信号領域ギリギリです。

営業効率（儲かるか）は、2011～2012年に改善しましたがその後失速しました。

資本効率（株主評価）も、営業効率と同じトレンドで推移しています。

生産効率（人の利用度）は青信号領域を緩やかな悪化トレンドで推移しています。

資産効率（資産の利用度）は悪化トレンドです。2014年には赤青ゼロ判別上にプロットしています。

流動性（短期資金繰り）は、5期連続赤信号領域にあり、改善トレンドです。

安全性（長期資金繰り）は、改善トレンドですが、2014年失速しました。

営業効率の基礎データを見てみましょう。

	(単位：百万円)						
	2010	2011	2012	2013	2014	10～14増し分	純増し分
売上高合計	294,061	288,529	294,623	284,996	287,137		
売上総利益	103,305	106,055	112,548	111,812	111,497		
売上高総利益率	35.13%	36.76%	38.20%	39.23%	38.83%	3.70%	3.70%
営業利益	13,785	16,616	18,684	16,336	11,990		
売上高営業利益率	4.69%	5.76%	6.34%	5.73%	4.18%	-0.51%	-4.21%
経常利益	9,026	13,151	16,023	14,301	10,251		
売上高経常利益率	3.07%	4.56%	5.44%	5.02%	3.57%	0.50%	1.01%
当期純利益	2,192	6,628	9,299	7,601	1,190		
売上高当期利益率	0.75%	2.30%	3.16%	2.67%	0.41%	-0.34%	-0.84%
10～14増し分：各財務指標の増減値						売上高総利益率・純増し分：売上高総利益の増し分	
売上高営業利益率・純増し分：売上高営業利益率・増し分 - 売上高総利益率・増し分 = 販管費率・増し分							
売上高経常利益率・純増し分：売上高経常利益率・増し分 - 売上高営業利益率・増し分 = 財務コストの増減値							

売上高総利益率は4年で3.70%も改善しましたが、販売費一般管理費率は、-4.21%悪化しました。売上高の推移を見ると、減収トレンドです。

売上が上がり難い状況の中、利益の元である売上高総利益率の改善を志向していることがわかります。儲かる商品の売れるしつみを構築し、それに成功しています。

以下にHC業界の売上高経常利益率上位7社を示します。各社、他事業もしていますから、HC事業のみの売上高総利益率も載せました。

コーナン商事のHC事業の売上高総利益率は突出しています。同業他社と比較して満足水準を決めていけば、2位の㈱コメリと4.48%も差をつけることは出来なかったはず。なぜ、これほどまでに高利益率を目指したのでしょうか。

会社名	HC売上高(百万円)	HC売上総利益	HC売上高総利益率	全社売上高総利益率	全社売上高営業利益率	全社売上高経常利益率	売上高経常利益率順位	自己資本比率
島忠 ※1	110,122	30,544	27.74%	32.63%	7.71%	9.57%	1	79.50%
アーランドサカモト ※3※4	72,756	20,830	28.63%	35.74%	8.82%	9.55%	2	69.00%
コメリ ※2	325,222	102,036	31.37%	33.49%	6.03%	5.51%	3	45.00%
ナフコ ※1※4	154,642	44,854	29.01%	33.44%	5.12%	5.27%	4	57.30%
ハンズマン	28,288	8,197	28.98%	28.98%	2.34%	4.71%	5	47.50%
DCMホールディングス ※2	428,324	127,082	29.67%	30.62%	3.84%	3.81%	6	45.40%
コーナン商事 ※2	273,797	98,157	35.85%	38.83%	4.18%	3.74%	7	30.70%

※1 島忠、ナフコは、家具・ホームファッション事業もあります。
 ※2 コメリ、DCMホールディングス、コーナン商事は家賃収入もあります。
 ※3 アーランドサカモトは家賃収入やその他事業もあります。
 ※4 アーランドサカモト、ナフコのHCの売上総利益の計算は、HC売上原価を簡便法・仕入実績で計算しています。

	(単位：百万円)				
	2010	2011	2012	2013	2014
総従業員数	9,088人	8,952人	9,301人	9,454人	9,796人
店舗数	224店	230店	249店	278店	290店
売上高合計	294,061	288,529	294,623	284,996	287,137
資産合計	221,945	226,712	242,281	252,876	271,007
1人当たり売上高	32,357,064円	32,230,675円	31,676,486円	30,145,547円	29,311,658円
1店舗当たり売上高	1,313	1,254	1,183	1,025	990

強気に出店しており、従業員数も増え『規模の拡大を志向している会社』であることがわかります。設備投資で、有形固定資産30,855百万円増加、資金調達で借入金・社債3,825百万円増加しています。新規出店費用がかさんで営業効率が失速し、生産効率が悪化し、資産効率は悪化し、流動性が赤信号、安全性が悪化しています。『規模の拡大を志向している会社』の特徴です。これを支えるのは「儲かる商品売る（売上高総利益率が高い）」体制です。

まとめ

コーナン商事は、企業力総合評価では一見良い会社に見えないかもしれませんが、分析から『規模の拡大を志向している会社』であること、そしてそれを支えているのは「儲かる商品売ること」であることが読み取れました。

編集後記

コーナンって、なんか楽しいですね。買うものがみつかる嬉しくなります。

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-9-21 SARUKIビル4F 猿木真紀子税理士事務所

Tel. 06-6631-4570 Fax. 06-6631-7970 info@saruki-tax.jp http://www.saruki-tax.jp